# きまめ

題字:尾方 芳郎氏

### 6月議会定例会 臨時議会 一般質問 経済常任委員会 ダム対策特別委員会

このたびの「平成 28 年熊本地震」により、犠牲になられた方々に謹んでお悔やみを申 し上げるとともに、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

また、被災者の救済と被災地の復興支援のためにご尽力されている方々に深く敬意を表し、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

五木村議会議長 西村久徳 議員一同

表紙: ネムの木

### 6 月定例会 こんな事が決まりました

般質問を行い、村政を質した。 平成28年第2回五木村議会定例会が6月15日と16日に開催され 正3件」「一般会計補正予算1件」計10議案を可決。 4議員が **「承認3件」「人事1件」「工事請負変更契約2件」「条例の一部改** 

### 《承認

○専決処分の承認 部改正) (五木村税条例等の

東決処分の承認(固定資産税評価 専決処分の承認(五木村国民健康保 健条例の一部改正)

査委員会条例の一部改正)

## 〈人事》

## ○教育委員の選任

氏名 土屋 靖子氏

五木村丙3番地

2百39万9千87円 8千80万7千87円

変更 当初

増額 契約相手 ㈱技建日本

代表取締役 堀川 匠太

変更 2百47万8千835円 6千3百17万4千835円

契約相手

株技建日本 堀川

代表取締役

匠太

(再任

工事請負変更契約 林道八重線開設工事 7千8百40万8千円

6千69万6千円

当初

村道内谷線道路改築工事

# 条例の一部改正

○五木村ケーブルテレビ施設の設 )五木村ケーブルテレビ放送番組審議 び管理に関する条例の一部改正

)五木村国民健康保険税条例の一部改正 会設置条例の一部改正

補正予算》

○平成28年度五木村一般会計補正予算 (第2号)

議員提案

)五木村議会傍聴規則の )五木村議会会議規則の一部改正 一部改正

興に係る特別な財政措置を求める意 見書」の提出 「平成28年熊本地震からの復旧 復

める意見書」の提出

「被災者生活再建支援法の改正を求

制度の創設を求める意見書」の提出 「地方創生に関する特別委員会」の 「行政庁舎等再建についての国庫補助

置及

「地方創生に関する特別委員会」の設置について 山本 豊議員の提案により、全会一致で設置されました。

### 【提案理由】

本村は、典型的な山村過疎の村であることは承知のことであり、川辺川ダム建設問題も絡み、 口減少の一途をたどっている。

昨年、執行部において「五木村まち・ひと・しごと創生総合戦略」も策定されているが、本議会 においても人口減少問題をはじめとする諸問題の解決のため、執行部と共に切磋琢磨し、協議・検 討を行う必要があるため、全議員が委員となり、この「地方創生に関する特別委員会」を設置する ことを提案する。

### 平成 28 年度一般会計補正予算 (第 2 号)

補正額	4千9百93万4千円	最終予算額	26億7百60万2千円
主な	歳入	主な歳出	
固定資産税(九電等)	1千2百6万6千円	避難所用組立ベッド製作委託料	70万2千円
電源立地地域特別対策交付金	4百97万3千円	熊本地震寄附金	△5百万円
公共交通形成計画策定事業	2 百万円	林業振興基金積立金	4百35万9千円
林道八重線開設工事補助金	1 千 3 百万円	資源ゴミ収集車購入費	5百40万円
一般寄附金 (熊本地震見舞金)	1 百万円	林道八重線開設工事	2千万円
過疎債(林道八重線分)	7 百万円	村営西谷住宅解体工事	2 百万円

### 6月議会定例会で政府に意見書を提出した3件の要旨

下記意見書は、本村にも関係が深い項目が多々あり、今定例会で議員提案し、全会一致で採択され、政府に意見書を提出しました。

### 1.「被災者生活再建支援法の改正を求める意見書」

- ①全額国庫による被災者生活再建支援制度に係る特例基金を創設すること。
- ②被災者生活再建支援金について、生活再建と住宅再建を合わせた現行の最大300万円の支給額を引き上げること。
- ③支給対象となる世帯の範囲については、被災した世帯の実情に応じた柔軟な対応を可能とすること。

### 2. 「平成28年熊本地震からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書」

熊本県においては、この熊本地震の復旧・復興に充てる財政調整用の基金も枯渇した。今後、 復旧・復興に向けた対応を踏まえると現行の国庫補助制度や地方財政制度では予算編成がで きず、復興が行えない。

よって、新たな補助制度の創設や災害復旧補助率のかさ上げなどを要望する。

### 3. 「行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める意見書」

- ①行政庁舎等の再建において、応急工事や調査、仮設庁舎の建設も含めた国庫補助制度を創 設すること。
- ②あらゆる災害において防災拠点機能を発揮できるよう、行政庁舎等の耐震化を含む拠点整備の充実等に要する費用について、国庫補助制度を創設すること。

### 意見書の提出先

 衆 議 院 議 長

 参 議 院 議 長

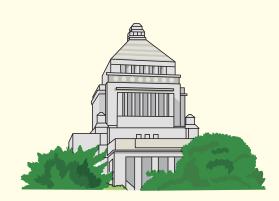
 内 閣 総 理 大 臣

 財 務 大 臣

 総 務 大 臣

 内閣府特命担当大臣

 (防災担当)



### 臨時議会

### 第4回臨時会(平成28年4月26日)

議	案	名	平成 28 年度一般会計補正予算(第 1 号)	採決結果
補	正	額	2千6百40万円	
最	終予	算 額	25 億 5 千 7 百 66 万 8 千円	
主	なが	₹出	熊本地震寄附金5 百万円東小学校改修工事監理業務委託60 万円東小学校改修工事2 千万円	1

### 第5回臨時会(平成28年7月14日)

議		案		名	指定管理者の指定について	採決結果
施	設	の	名	称	子守唄公園及びかやぶき民家	
団	体	の	名	称	(株)子守唄の里 五木 取締役 岩本員功	스스 짜리네
指	定	の	期	間	平成 28 年 7 月 15 日から平成 31 年 3 月 31 日	全会一致可決
指	定	管	理	料	99万1千円(3年間)	
						1
議		案		名	平成 28 年度一般会計補正予算(第 3 号)	採決結果
補		正		額	2千5百27万8千円	
最	終	予	算	額	26 億 3 千 2 百 88 万円	<b>賛成多数可決</b>
主	な		歳	出	五木村観光協会助成金△1千2百61万3千円観光振興業務助成金1千38万9千円道路等災害復旧費(応急工事含む)2千5百92万円	(賛成 8・反対 1)

### 第5回臨時会の論点

観光協会が6月6日に解散したことにより、一般会計補正予算にて「五木村観光協会」助成金を減額し、「㈱子守唄の 里 五木」へ助成金として計上されたことについて議論されました。

### 執行部の予算説明(要約)

観光協会が解散し、観光事業が滞っている。観光ツアーの予約も入っており、観光事業自体を停滞させる訳にはいかない。そこで、今まで担ってきた観光協会の業務を㈱子守唄の里 五木へ移行したい。その予算として当初予算で編成していた観光協会への助成金を減額 (△ 12,613 千円) し、今回、新たに㈱子守唄の里 五木へ助成する観光振興助成金 (10,389 千円) として予算を計上し、観光事業を担ってもらう。なお、全額をそのまま助成するものではなく、必要経費を助成し観光部門内で独立した経理とする。

### 反対討論(岡本精二議員)※要約

私は反対の立場で討論する。議員の中からも色々と意見がでており、執行部からも説明があった。しかし、もう少し時間をかけて、より良い方向にするためには私は余りにも判断が早すぎると思う。この観光振興等については、もう少し行政指導が必要だと思う。そう言った点から私は反対する。

### 賛成討論(田山淳士議員)※要約

私は賛成の立場で討論する。観光振興については、切羽詰まったことであるようであり、確かに観光協会が解散したと言うことは、良くないことである。しかし、今回の予算と解散した問題は切り離して考えるべきではないか。ツアー客も近々来村するとのことで、予約に差支えたら困る。予算は予算とし観光振興や観光協会の問題は、今後改めて全員協議会等で議論して行けば良いと思う。そう言った点から私は賛成である。

### 小鶴地区の山腹が崩壊する

7月13日(水)午後6時半過ぎ、小鶴の土肥商店の裏山が崩壊し、店舗や車庫を押しつぶし、 県道宮原五木線の全幅を土砂や立木が覆いました。

議会も翌朝、現地を確認し、その凄まじさを目の当たりにし、驚きを隠せませんでした。現 地で経営者の片山さんにお話を伺いましたが、自宅へ帰ってすぐ、大きな山が崩れるよう音が したため、対岸の山と思われたそうですが、実際は店舗の裏山だったそうでした。帰宅後の数 十分後の出来事で、片山さんや通行中の車両等も巻き込まれることなく「不幸中の幸い」でした。



倒壊した土肥商店



県道宮原五木線をふさいだ立木



高さ約100m、幅約60mの崩壊

### 平成28年度 川辺川ダム砂防事務所事業説明会開催される

去る6月8日に国土交通省川辺川ダム砂防事務所による平成28年度事業説明会が開催されました。 議会議員、国交省職員、役場職員とともに宮園地区砂防堰堤と池の鶴地区工事用道路落石対策工事及び五 木小川護岸工事予定地の現場を視察し、役場に帰庁後、詳細な説明を受けました。



宮園砂防堰堤現場(写真奥が堰堤建設予定地)



池の鶴地区五木小川護岸工事現場

# 対づくりを問う





山本 議員

# 五木村まち・ひと・しごと 創生総合戦略は

# 目標に向けて努力したい

別との 目 資本総合整備事業を加味 Щ れるふるさとづくり計 11 るよう努力目標を設定して る。 標に向けて努力したい。 村人口活性化事業、 事業、 基本構想、 再 建計 地 域・ 社会

五

木村まち・



いる。総合戦略の目標達成へ向けての羅針盤となってづくり計画」は、本村再生

再建」や「ふるさと五木村 の実現に向け、「五木村生活 しながら、「五木村基本構想」 いて、この総合戦略を活用 しごと創生総合戦略」

に向けた考えを伺いたい。

「五木村まち・ひと・

550人程度まで維持でき れば260人程度の人口を

定し、この中で何もしなけしごと創生総合戦略」を策

- 1. 五木村の発展を支 える産業と、魅力あ る雇用を創出する
  - 2. 五木村への人の流れ を創るとともに、人 材の流出を抑制する
    - 3. 村民の結婚・出 産・子育での希望 を実現する
      - 4. 村民が誇りを持ち 安心して暮らし続け られる地域を創る



### 熊本地震後の観光客への対応は

### 支障のないように努めたい

事とした。

直しもそれに基づいてやる

た。また、待機体制の見 の場合も登庁するように



も含めた訓練はされるのか けて訓練をやっていきたい。 予定されており、それに向 行っている。 がそのような場合の想定 月に全県的な防災訓練 ないといった場合があ 身が被災され、 今回の被災地で、 また、 連絡 今年 職 が

いところがあった。 の検証はされたの が正直言って非常に検討をした結果、地 か。 防災 きだと思う。

0)

危

震対応

てされるのか。 としているが避難所も含め 震構造の見直しがされよう 公共施設にお 11

の見直しを行い、

震度4以

の組織体制の見直しや対応

建築基準の改正もあり、 制定する必要があると思う。 考えてあるのか。 耐震診断の補助制度を村は 必要があると考えている。 り場所を限定しながら行う ている。 震度5の耐震構造設計は いたいが、 今は村にはな 個人の住宅について 順次、 補助事業もあ 耐震構造 0) سلح で

ているのか。

毎年1

П

**|登庁訓** 

練

机上訓練などの予定はされ

動

予定計画、

地震が起きた場合

行

避難などの

災をした場合の想定は行っ いないので1度検討すべ これまで、 職員が被

家具などの転倒防

、て耐

公共事業につ いては

で P 村長 質問

また、 討しているが アムの旅行券 の活用など検

質問 け、その対策 風評被害を受 やデータなど 大震災などで 東日

いく必要があると認識して 意見も聴きながら検討して 見るのかも含め、

専門家の

の時点の耐震構造の基準を

非常に苦慮 ている。

が資料として などは行った た。聞き取 の派遣は行 災害への職員

早田吉臣

検討していきたい。 要なのか見通しを立て早く う。どれくらいの費用が必 はあるのか。 対策は立ててあるのか。 体でも減少しているがその 女子対応は とい本地震後の観光客への 度は考えていないか。 補助具を取り付ける補助 R活動をやっている。 東日本 フェイスブックなど プレミ 転倒防止は必要と思 観光客が人吉球磨全



五木村からの炊き出しボランティア

か。 ことへの対応はどうするの のは手に入っていない 観光が疲弊している 観光協会も解散され

個人客も含めて支障がな ていきたい。また、ツアー客、 ので村と(株)子守唄の里 五木の方でなんとか対応し けているのが15本程度ある ように努めていきたい。 観光協会で予約を受

# 持づくりを問う



旾

### 岡本精

# 住宅等の耐震診断について 別又

# 必要性は分かっている

には、 万 1 いる。 されている。被災された方々 上げる。 の地震回数の余震が続 15日現在も1700回 大震度7 心よりお見舞い その中で特に住宅14 4 月 14 0 0 本村では住宅の 0) それ以 激震が襲った熊 棟以上が被災 H 降 16 代日に最 の 6 申し 以上 被

内には人吉盆地南緑 るのかが分からないので心 満たしているのが何割りあ あ 北 あ と県内にも複数の活断層 配している。 本村の場合、 たのが3割弱あったそうだ。 る。 8 どこでも起きる可能 側には国見岳 |準を満たしていなかっ 専門家によると地震 新聞を見ると本村 车 (昭和56年) 新耐震基準を 何故かと言う 断 層帯と郡 断 新耐 層

> えか。 村長としてどのようにお考 り組む必要があると思うが

ご指摘のとおりであり地震 りかた等にも色々あると思 事実であり、 家屋が存在していることは の件であるが、かなり古 なかったと思う。 がいつ起きるとは想定され 会とも協議をしたいと思う。 必要性は十分わかるの 早急に内部で詰めて議 熊本地震については、 耐震診断のや 耐震診断

時点の県内住宅数は約66万

県によると2008年

5千戸であり、

そのうち1

る。

事前に耐震診断等に取

あると言えると言われてい

棟以上の住宅が本村にはあ

災は無かったもの

をお願 路敷について 場合には、 は地積調査が し、もう一つ については分 いと思う。 全村完了した 筆のお願 有者に村道敷 建設課長 村に寄付 いかを 道 所

### 質問 れ道路線の登記について 地積調査が平成13

所は今後どのように進めて 質問 部で2路線のみである。 でいるのは、 地積調査も後半と思うが、 年を経過しようとしている。 度から始まって、今年で15 いくのか。 建設課長 いるのか担当課長に尋ねる。 村道の登記は、どうなって 一部と村道葛の八重線 地積調査が完了した 現在登記が済ん 村道瀬目線 0



未登記の村道



### 今後の五木産材の活用について

援として木製ベッド 今回、熊本地

-を送ろ

ていきたい。 だくようにP

R なり

### 和田村長 もっとPRしたい

け あ

中

-間マー

ジンを省くよう

川邉正美

して本村においても何か支 農林課長 熊本地震が発生 さんに加工製作をしていた 組立式ベッドを村内の大工 届いていれば伺いたい。 れた被災者の感想とか村に うと思われた背景と使用さ できないかということで

化」により、どのようなメ る。五木産材をできるだ 域ということで いるが 産 ていない

不多

ット

があるのか。

面

五木産材のブランド

方では林業という財

域と言われて

倒壊が有るが今後の安心安状を考えた時に木造住宅の ると思っている。 りやすく説明する必要が有 て考えて一 造工法の性能、 間の中で話をしている。木 ないかと言うことで協定者 そこで村としても何かでき ではないかと感じている。 けて木造住宅離れが進むの 農林課長 どのように捉えているのか。 全、そして消費者ニーズを 今回の地震を受 般の方にも分か 地震被災の 設計につい

木産の材を多く使っていたならないと思っている。五な形で売っていかなければ

質問 のような動きはあるのか。 工務店、 り組みとして設計事務所や 宅提案が必要と思うがそ 今後、産直 住宅メーカーなど 協定者間で勉 耐震も含めた 住宅の 取

支援はどのような物を考え 今のところ考え 他の木製品

あるので調査に行く計画を地で取り組んでいる事例が している。 た木工品の消費者ニーズは 農林課長 国産材を活用し 職人の育成は考えないか。 ための加工 デザイン等の調査研究を行 として木工品の流通や加工、質問 住宅以外の木材活用 い若者の起業や定住促進 場の整備や木工

0)

育成等を含め 住促進、人材 ていきたい。 て今後努力し

たかなりの投入長 全般的

地震支援に使われた木製ベッド

方向で頑張りたい。
あを開力が増えるようなの経済を回るように、できの経済を回るように、でき 0) 栓済を回るように、できていく事が大事だ。村内ので、これを有効に活用

えている。 がら検討していきたいと考 会をしながら今後 していきたいという話しながら今後住宅の提 報告もしな

質問 答弁を踏まえ 頂いたが、 きな答弁を 用と農林課長 長として課長 色々と前 木材の活 村 向

いて最後に伺

# 経済常任委員会

### 委員会の期日

平成28年5月2日

### 協議事件

検討について地場産業育成や雇用対策の協議・

### 協議内容

ができるのか、協議・検討を行った。場づくり」として何があるのか、何多く見られ、委員会としても、「働くく場を確保して欲しい」との意見がンケート)結果で、住民からは「働業実績に基づき、熊本県の検証(アニふるさと五木村づくり計画」の事

# 委員からの意見等

- や水耕栽培が必要である。 農業にしても特質したハウス栽培ものを要望しなければ実現しない。ない。かと言って、村も具体的な国、県の力を借りないと自立でき
- それをどう活かすのかが課題で、に行き、取り組みを聞いてくるが、私たちも、いろんなところに研修

具体策を提案していない。

- 村民所得は県内でも上位の方であ
- ていけばどうか。
  し、本村は五木村民がそこに勤めし、本村は五木村民がそこに勤めり、人吉球磨郡広域で企業を誘致り、人吉球磨郡広域で企業を誘致り、人古球磨郡広域で企業を誘致していけばどうか。
- もいるのではないか。 かけて募集すれば若いUターン者
- 全国に売っていくのはどうか。立ち上げ、その後、充実を図って、

### まとめ

# 委員会の期日

平成28年4月26日

### 協議事件

今後のダム対策について

### 協議内容

いくべきか、協議を行った。 員会としてどのような行動をとってたが、今後のダム対策について、委

## 委員からの意見

- ・三者協議に移行していった経緯が
- 民主党政権下でダム中止に係る新である。
- ・国に水没予定地の土地を返してもとなるが、信じていいのか。となるが、信じていいのか。 とことで、単純計算で1日465人

らうよう働きかけることはできな

た。

いか。

県も動いてくれない。

- 今後の維持費を確保する必要があの再建はできていただろうか。
- 今後の維持費を確保する必要があ
- であれば、ダム問題の中でも特化本県五木村振興条例について、検証をするため、地元選出の県議と証をするため、地元選出の県議と証をするため、地元選出の県議と
- 換を行うべきではないか。 省とも水没予定地に関する意見交計画から50年の節目として、国交る。

### まとめ

でれ考え、意見を出し合うことにし度、委員会を開催する時まで、それ交換を行う方向で進め、川辺川ダム交換を行う方向で進め、川辺川ダムが会との意見も多く、意見地元選出の県議会議員との意見交



着工前(H24.3)



右岸法面保護(H24.11 ~ H25.5)



護床工完了(H26.11 ~ H27.5)



魚道施工(H26.11 ~ H27.5)



堤体施工(H27.11 ~ H28.5)



しゅんエ

	堰・堤・の・構・造
堰堤	溢流型コンクリート重力式 高さ:13.0 m 長さ:86.0 m 敷幅:55.0 m
1	電動 2 門 幅: 3.0 m 高さ: 3.0 m
魚 道	コンクリート階段式 幅: 2.0 m 水深: 0.8 m
制水門	電動 1 門 幅:3.0 m 高さ:3.0 m

- ※ 堰堤本体工事は5月末で完成し、残作業を8月末までに完了予定。
- ※ 発電所の運転は8月盆過ぎから有水試験を経て、9月2日に営業運転予定。

次回の定例会は9月中旬の予定です。

### 

### 五木の動物 植物シリーズ



### フシグロセンノウ(節黒仙翁)

この花は、ナデシコ科センノウ属に分類され、日本固有の植物とされる。近縁種に 松本センノウがあり、絶滅危惧種に指定されている。村内でもごく、限られた場所で 咲いているのを見たことがある。開花は6月下旬から7月中旬までのようで、「センノ ウ」そのものは、シベリア→北アジア→中国→京都嵯峨の仙翁寺に伝わったと言われ ている。(別名リクニス)

### アカショウビン(赤翡翠)



梅雨のころ、山間の鬱蒼とした樹林から何とも言 えない、物悲しい鳴き声がする。鳴き声の主の正体 を知らない間は、小鹿でも鳴いているのかと思って いたら、知り合いから「アカショウビン」だと聞か された。さっそく図鑑を調べると、ブッポウソウ目 カワセミ科に属する鳥であった。その姿は鮮やかな オレンジ色でプロの写真家ですら目撃するのは難し いと言われている。一目見てみたいと思っているが、 まだかなわずにいる。

実な願いである。

モントブレチア (ヒメヒオウギズイセン)

ことは きく減少し、 及ぼしている。

大雨で二次災害も発生し、 が進むにつれ、 難所での長い生活 かになってきた。 健康に不安を抱 方が多い中、 熊本地震の被害調査 厳しい現実が明 梅 える 雨

も早い復旧・復興は県民の あっているが人的被害がない 連日の大雨で道路の被 を受けている。そのような中 の売り上げも大きなダメージ 熊本の経済にも大きな影響を 村でも観光客の入込客数が大 大きな影響を受けており、 「幸い」であり、 道の駅や各商店 県内の観光も 害